

14時30分解禁

平成20年8月 全国百貨店売上高概況

平成20年9月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,061億円余
2. 前年同月比	-3.1% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	93社 280店 (平成20年7月対比±0社0店)
4. 総店舗面積	6,807,774㎡ (前年同月比: 0.0%)
5. 総従業員数	101,564人 (前年同月比: 2.5%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -1.0%、2-4月 -1.4%、3-5月 -2.4%、 4-6月 -4.6%、5-7月 -4.2%、6-8月 -4.4%

[参考] 平成19年8月の売上高増減率は1.4% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

6か月連続で前年同月比マイナスとなった。

8月は、前半の猛暑から中旬以降一転して多雨低温となるなど天候不順の影響で主力の衣料品が不調であったほか、景気後退や物価高また株価低迷など生活防衛意識・先行き不安を強める経済環境要因も手伝って消費マインドが冷え込み、地区別でも商品別でも多くの項目で前年の売上実績には届かなかった。

月後半の気温低下で初秋物のファッション商材に動きが見られたこと、値頃感を訴求する商材や一部店舗で新設されたヤング向け売場が好評を得ていること、土曜・日曜がそれぞれ1日ずつ増加したことなどプラス要素も見られたが、北京オリンピックのテレビ観戦や豪雨で入店客数が減少したこと、例年以上に各店で改装工事が行われ営業体制に制約(売場面積減等)を受けたこと、特に地方都市において郊外型商業施設をはじめ他業態との競合が激化していることなどが影響し、最終的には減収基調が続く結果となった。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 月の前半は全国的に高気圧に覆われて、晴れて暑い日が多かった。月の後半は、前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多く、ところどころで大雨となった。大雨により各地で浸水害や土砂災害が発生した。

(2) 営業日数増減 30.7日 (前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (" +2日/土・日曜各1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 24店、②変化なし: 53店、③減少した: 74店、④不明: 42店

(5) 8月歳時記 (旧暦お盆、夏休み、夏祭り) の売上 (同上)

①増加した: 12店、②変化なし: 70店、③減少した: 23店、④不明: 88店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 16店、②変化なし: 75店、③減少する: 31店、④不明: 71店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2008年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	506,159,877	100.0	-3.1 (-2.8)
10都市	324,347,504	64.1	-3.0 (-2.5)
札幌	14,403,352	2.8	0.1
仙台	6,785,052	1.3	-2.8
東京	120,909,670	23.9	-4.1 (-2.7)
横浜	28,290,525	5.6	-0.3
名古屋	27,940,709	5.5	-4.8
京都	20,694,982	4.1	0.9
大阪	65,866,055	13.0	-3.6
神戸	14,373,705	2.8	-2.1
広島	11,300,513	2.2	-2.6
福岡	13,782,941	2.7	-2.6
10都市以外の地区	181,812,373	35.9	-3.2 (-3.4)
北海道	3,443,776	0.7	-5.8 (-16.0)
東北	10,933,011	2.2	-4.2
関東	83,406,284	16.5	-2.7
中部	14,249,986	2.8	-0.5
近畿	17,439,746	3.4	-2.6
中国	13,367,304	2.6	-0.2
四国	9,447,104	1.9	-4.5
九州	29,525,162	5.8	-6.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	506,159,877	100.0	-3.1 (-2.8)
紳士服・洋品	27,249,407	5.4	-1.4 (-1.5)
婦人服・洋品	106,980,578	21.1	-5.3 (-5.3)
子供服・洋品	10,635,561	2.1	0.3 (0.3)
その他衣料品	15,239,388	3.0	-5.7 (-5.7)
■ 衣 料 品	160,104,934	31.6	-4.3 (-4.4)
■ 身のまわり品	65,360,688	12.9	-3.6 (-3.3)
化粧品	27,774,824	5.5	1.2 (1.2)
美術・宝飾・貴金属	25,601,035	5.1	-1.3 (-1.3)
その他雑貨	25,914,542	5.1	-4.7 (-3.8)
■ 雑 貨	79,290,401	15.7	-1.6 (-1.3)
家 具	8,379,844	1.7	-14.9 (-14.8)
家 電	1,769,457	0.3	-8.8 (-8.9)
その他家庭用品	16,650,488	3.3	-5.5 (-5.4)
■ 家 庭 用 品	26,799,789	5.3	-8.9 (-8.8)
生 鮮 食 品	30,690,707	6.1	-0.5 (0.0)
菓 子	38,903,421	7.7	0.8 (0.8)
惣 菜	31,586,467	6.2	-0.0 (0.2)
その他食料品	40,521,770	8.0	-1.4 (-0.8)
■ 食 料 品	141,702,365	28.0	-0.3 (0.0)
食 堂 喫 茶	18,655,836	3.7	-3.1 (-1.8)
サ ー ビ ス	5,981,945	1.2	-3.4 (-2.1)
そ の 他	8,263,919	1.6	-12.5 (-12.5)
商 品 券	16,452,000	3.3	-12.2 (-12.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | －3.0% (店舗数調整後／6か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | －3.2% (〃 ／14か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	－3.0	－1.9	6か月連続マイナス
札幌	0.1	0.0	12か月ぶりプラス
仙台	－2.8	0.0	4か月連続マイナス
東京	－4.1	－1.0	6か月連続マイナス
横浜	－0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
名古屋	－4.8	－0.3	9か月連続マイナス
京都	0.9	0.0	6か月ぶりプラス
大阪	－3.6	－0.5	6か月連続マイナス
神戸	－2.1	－0.1	5か月連続マイナス
広島	－2.6	－0.1	6か月連続マイナス
福岡	－2.6	－0.1	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	－3.2	－1.1	14か月連続マイナス
北海道	－5.8	0.0	10か月連続マイナス*
東北	－4.2	－0.1	5か月連続マイナス*
関東	－2.7	－0.4	14か月連続マイナス
中部	－0.5	0.0	5か月連続マイナス
近畿	－2.6	－0.1	5か月連続マイナス
中国	－0.2	0.0	3か月連続マイナス*
四国	－4.5	－0.1	14か月連続マイナス
九州	－6.1	－0.4	12か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来20か月連続プラス、子供服・洋品が2か月連続プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.1	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.4	-0.1	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.3	-1.2	14か月連続マイナス
子供服・洋品	0.3	0.0	2か月連続プラス
その他衣料品	-5.7	-0.2	6か月連続マイナス
衣料品	-4.3	-1.4	14か月連続マイナス
身のまわり品	-3.6	-0.5	12か月連続マイナス
化粧品	1.2	0.1	20か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-1.3	-0.1	18か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.7	-0.2	9か月連続マイナス*
雑貨	-1.6	-0.2	6か月連続マイナス
家具	-14.9	-0.3	9か月連続マイナス
家電	-8.8	0.0	8か月連続マイナス
その他家庭用品	-5.5	-0.2	6か月連続マイナス
家庭用品	-8.9	-0.5	9か月連続マイナス
生鮮食品	-0.5	0.0	2か月連続マイナス*
菓子	0.8	0.1	20か月連続プラス*
惣菜	-0.0	0.0	3か月連続マイナス*
その他食料品	-1.4	-0.1	3か月連続マイナス*
食料品	-0.3	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-3.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	-3.4	0.0	3か月連続マイナス
その他	-12.5	-0.2	11か月連続マイナス
商品券	-12.2	-0.4	14か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成20年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年9月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,209億円余
2. 前年同月比	-4.1% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.6% (86.5%) : 非店頭-7.2% (13.5%) () 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年7月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	988,391㎡ (前年同月比: 2.8%)
6. 総従業員数	19,192人 (前年同月比: 3.4%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 -0.1%、2-4月 0.3%、3-5月 -1.2%、 4-6月 -3.6%、5-7月 -3.5%、6-8月 -4.1%

[参考] 平成19年8月の売上高増減率は4.5%

【8月売上の特徴】

- (1) 好調を維持してきた化粧品が前年比較開始以来初めてマイナスとなったが、これにはプロモーション時期のずれ込み、改装工事による面積減、天候不順によるUV商材の不振、ブランド間の好不調格差の拡大等々、各店の個別事情が複合的に影響している。
- (2) 景気動向に左右されない数百万円クラスの高額品が堅調に推移して、美術・宝飾・貴金属が10か月ぶりにプラスとなった。また催事の効果から時計が比較的好調であった。
- (3) 衣料品は婦人服を中心に盛夏物の最終セールが活況であった一方で、秋物のプロパー商材が苦戦し、全体としては不調に終わった。
- (4) プライスラインの見直し傾向については単なる低価格化ではなく、裾値の見直しを含めた価格帯(幅)拡大の方向で進められている。顧客の商品価値に対する価格評価が一層厳しくなっている状況を踏まえ、同価格で上位価値を提供するのが目標となっている。
- (5) 今年のお盆の帰省ギフトは、各店とも好調に推移した。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 10店、③減少した: 6店、④不明: 3店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 9店、③減少した: 3店、④不明: 9店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 2店、②変化なし: 15店、③減少する: 3店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年08月

※店舗数調整後 () が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	120,909,670	100.0	-4.1 (-2.7)
紳士服・洋品	7,701,404	6.4	-3.1 (-3.1)
婦人服・洋品	23,639,121	19.6	-10.1 (-9.5)
子供服・洋品	1,844,052	1.5	4.9 (5.5)
その他衣料品	3,231,311	2.7	-4.3 (-4.1)
■ 衣 料 品	36,415,888	30.1	-7.5 (-7.0)
■ 身のまわり品	17,165,813	14.2	-6.1 (-4.7)
化粧品	6,863,429	5.7	-1.8
美術・宝飾・貴金属	7,692,704	6.4	1.5
その他雑貨	8,037,951	6.6	-1.5 (1.6)
■ 雑 貨	22,594,084	18.7	-0.6 (0.5)
家 具	2,447,662	2.0	-8.3 (-7.5)
家 電	596,891	0.5	-8.4
その他家庭用品	4,601,487	3.8	-7.9 (-7.0)
■ 家 庭 用 品	7,646,040	6.3	-8.1 (-7.2)
生 鮮 食 品	4,570,846	3.8	0.7 (5.1)
菓 子	8,417,689	7.0	+0.0 (0.5)
惣 菜	6,797,102	5.6	-1.7 (-0.5)
その他食料品	9,270,744	7.7	2.3 (5.9)
■ 食 料 品	29,056,381	24.0	0.4 (2.6)
食 堂 喫 茶	4,171,486	3.5	-1.8 (4.5)
サ ー ビ ス	1,718,993	1.4	-6.5 (-1.8)
そ の 他	2,140,985	1.8	-9.6 (-9.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,571,225 千円	-20.6
従 業 員 数	19,192 人	3.4
店 舗 面 積	988,391 m ²	2.8

営 業 日 数	31.0 日	前 年	30.9 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。菓子は20か月連続プラス、美術・宝飾・貴金属は10か月ぶりプラス、子供服・洋品が2か月連続、生鮮食品、その他食料品がプラスとなった。化粧品は前年比較を開始して以来はじめてマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.1	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.1	-0.2	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-10.1	-2.1	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	4.9	0.1	2か月連続プラス
その他衣料品	-4.3	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	-7.5	-2.4	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-6.1	-0.9	5か月連続マイナス
化粧品	-1.8	-0.1	前年比較を開始した2007年1月以降初のマイナス*
美術・宝飾・貴金属	1.5	0.1	10か月ぶりプラス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	3か月連続マイナス*
雑貨	-0.6	-0.1	4か月連続マイナス
家具	-8.3	-0.2	5か月連続マイナス
家電	-8.4	0.0	8か月連続マイナス
その他家庭用品	-7.9	-0.3	3か月連続マイナス
家庭用品	-8.1	-0.5	3か月連続マイナス
生鮮食品	0.7	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	+0.0	0.0	20か月連続プラス*
惣菜	-1.7	-0.1	5か月連続マイナス*
その他食料品	2.3	0.2	3か月ぶりプラス*
食料品	0.4	0.1	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	-1.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
サービス	-6.5	-0.1	5か月ぶりマイナス
その他	-9.6	-0.2	22か月連続マイナス
商品券	-20.6	-0.5	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド